



えりあ通信 秋号

中核の12年目 新しい福祉へ

平成16年10月に千葉県が福祉の総合相談事業としてスタートさせた「中核地域生活支援センター」。今秋、12年目の活動が始まりました。設立の発端は、福祉の現場では様々な相談が混然一体となつて入ってきており、制度の隙間でどこにも相手にされない相談があったことからです。相談者がだらり回しにされず、24時間365日体制で相談できる窓口が必要だと県民からの意見があり設立へと前進しました。子ども、障がい者、高齢者等を想定していましたが、あたりまえに生活していく上で、困難に直面している県民なら誰でも利用することができるセンターとして県民に認識していただけるようになってきました。

今後も時代にあわせた柔軟な支援を提供するべく活動を続けていきます。



エリア do!

さんぶエリアネットでは新しい時代に対応した情報発信を行っています。
今年度も山武健康福祉センターとの協働による連絡調整会議及び「高齢者部会」「児童部会」の開催や各種講座の企画運営など様々な会議や



ロコモティブ
シンドローム

座って聞くだけではありません。
体で考えていくことも大切なんですね



講座を通して課題やニーズの共有化や関係者間のネットワークづくりを推進しています。



A



C



D

Photo

“医療と福祉のネットワーク構築”について匝瑳市地域包括支援センター磯部久子氏にご講演いただきました。（6月 右上A）

福祉従事者、介護支援に興味ある人、学生などが参加した高齢者部会の勉強会。ロコモティブトレーニングでの1コマ（7月 上B, 中C）

医療と福祉がつながる座談会。“在宅医療と地域連携”をテーマに岡崎宣彦先生に山武圏域での医療と福祉のつながりについてご講演をいただきました。（9月 右D, 下E）

活動の一例（講座・共催ほか）

- 医療と福祉がつながる座談会
 - ペアレントサポートワークショップ
 - 東金特別特別支援学校窓口相談会
 - 出張講座・意見交換会
 - 福祉資源マップ作成
 - メーリングリスト・
 - ホームページからの情報提供・・・など
- いろいろ企画していきます。



E



食のリサイクル フードバンク活動

前号でも紹介した食のリサイクルキャンペーン「フードドライブ」が9月14日から10月末まで行われました。さんぶエリアネットも受付窓口として協力させていただき多数のご寄付をいただくことができました。今回ご寄附いただいた食品は『フードバンクちば』を通して福祉関連施設へ、また支援団体などを通じて生活に困窮している方へ届けられます。ご協力ありがとうございます。

り、必要としている福祉施設・団体等や生活困窮者へ無償で提供する活動です。食品ロスを削減し、企業や個人の社会貢献を推進することで、食品確保が困難な方々の役に立つという新しい「食のリサイクル」でもあります。詳しくは、『フードバンクちば』のホームページまたは☎043-375-6804まで

エリア news

【フードバンクとは】包装の破損や印字ミス、賞味期限に近づいた等といった理由から、品質には問題がないにもかかわらず廃棄されてしまう食品・食材を、企業や個人等から引き取



心の健康フェアーンちば

平成27年11月25日水曜日に、千葉の森芸術文化ホールにて心の健康フェアを開催いたします。

プログラム

AM

- ・ 作品展示



- ・ 心の健康相談コーナー

- ・ 講演「統合失調症について」
講師 石川 真紀（千葉県精神保健福祉センター医師）

- ・ 当事者からのメッセージ

私の「自分らしさ」

イチ押しメッセージ

PM

- ・ 式典

- ・ 精神保健福祉功労者表彰

- ・ 講演「統合失調症が

やってきた」

講師 松本 ハウス

(サンミュージック所属)



主催 NPO法人千葉県精神保健福祉協議会
千葉県

後援 千葉県教育委員会
千葉県社会福祉協議会

問い合わせ

心の健康フェア実行委員会
千葉県精神保健福祉協議会
TEL080-7000-2093

中核地域生活支援センター大会2015



7月24日「中核地域生活支援センター大会2015」を開催しました。今年4月に生活困窮者自立支援法が施行されたことでテーマは「困窮や孤立」。生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表の奥田知志氏による『だすけてと言えぬ社会を目指して』と題する基調講演に加え、中山学園

三雲葉子校長、「恋する豚研究所」飯田大輔氏など新しい福祉リーダー達による『貧困や孤立を生まない地域社会づくりを目指して』と題するシンポジウムを行いました。参加者約250名がこれからの福祉のあり方、新しい福祉のあり方を考える大会となりました。



さんぶの力 福祉の瓦版

顔写真 ヘルプカード (私には裏面のような支援が必要です) 氏名 山武 太郎 生年月日 年 月 日	私に必要な支援 ○ ○ ○ ※障害・疾病等の特性や具体的な支援内容について記入 与薬の種類 T を1日()回/1回()錠・包・mg/食前・後 T を1日()回/1回()錠・包・mg/食前・後 T を1日()回/1回()錠・包・mg/食前・後 アレルギー そば 既往症 合併症など 受身の姿勢では自分の命は守りきれません。 自発的に身を守る方法として携帯してください。
	住所 千葉県△△市 緊急連絡先 氏名 〇〇 所属(利用施設) 〇〇〇学校 氏名 〇〇 医療機関(主治医) 〇〇〇〇〇〇病院(台合先生) 氏名 〇〇 血液型 O型 RH(-) 障害・疾病等 (身体) (視覚)、知的、精神、発達、 高次脳、認知症、寝たきり高齢者、難病()、 その他 ()

災害に備え
ヘルプカード

今年も地震、大雨、噴火など各地で災害が起っています。最近では千葉市や成田市など私たちの住む身近な場所でも

突風、竜巻などの被害がありました。日ごろから非常時の持ち出し品のまとめ、避難場所の確認、家族との連絡方法などを確認しておきましょう。また、お薬手帳やヘルプカードなども用意しておくことで安心です。

《表面》 私に必要な支援の記入例
 (裏面「私に必要な支援」の記入例)
 ※障害・疾病等の特性や、具体的な支援内容について記入する。
 ○ □□障害があり、会話を理解したり話を正しく伝えたりすることが苦手です。指示や予定を文字や表にすると、よくわかります。
 ○ てんかん発作があり、発作が起きたときには体を横にして、けいれん発作が5分以上続いたら医療機関に搬送してください。
 ○ ☆☆を持っていると落ち着きます。普段は△△と呼ばれています。
 ○ 認知症があり、必要量以上に食べることがあります。
 (千葉県ホームページ 九十九里版 津波避難に関するガイドラインより)

さんぶエリアネット

ワンストップで相談を受け適切な支援につなげます

E-mail sanbuarea@wanahome.or.jp
 〒289-1326 TEL:0475-53-5208
 千葉県山武市成東189-3 FAX:0475-80-2808